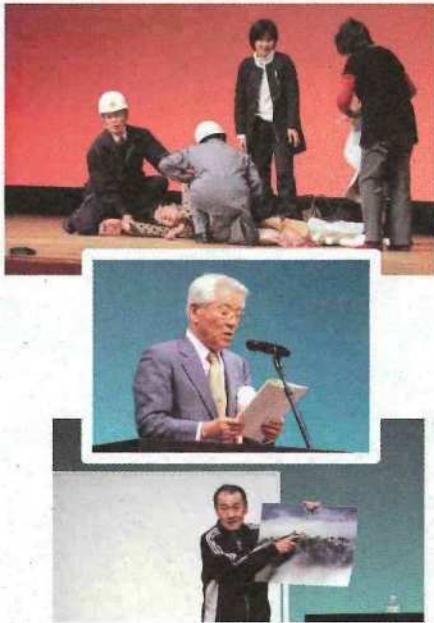


2016年
1月
第22号

いきいき近江



平成27年11月12日、滋賀県立文化産業交流会館において第54回滋賀県老人クラブ大会を開催しました。

午前10時に開会し、君が代斎唱のあと、主催者を代表して北沢県老ク連会長が挨拶を述べ、その後表彰へと移りました。

今回は、知事表彰6名8クラブ、会長表彰22名10クラブが受賞、また、全国老人クラブ連合会会長表彰の活動賞について、3クラブの表彰が伝達されました。

表彰に続いて、来賓を代表して三日月滋賀県知事様および地元米原市西田副市長様からご祝辞をいただいた後、今回知事表彰を

ます。
最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と申します。



年間掛金ひとりで交通災害共済に加入しませんか?

加入できる方

- 県内に住民登録をしている方
- 県内の事務所・事業所・学校等に勤務または在学している方

掛金(年額)

1人500円(1人1口)

共済期間

- 平成28年4月1日から平成29年3月31までの1年間
- 途中加入もできます。この場合も掛金は同じです。

くわしくは、市役所または町役場でおたずねください

滋賀県市町・滋賀県市町村交通災害共済組合

ホームページ 滋賀交通災害共済で検索してね TEL.077-524-4610

対象となる事故

日本国内の一般道路上で自転車、バイク、自動車等の運転中に発生した交通事故(自損事故含む)または、運転中のこれらの車両に接触またはひかれた交通事故による死傷が対象です。(共済期間内に発生した交通事故に限る)

加入方法

お住まいの市役所、町役場の交通災害担当窓口までお問い合わせ下さい。



災害見舞金

1等級	1,000,000円	死 亡
2等級	800,000円	自動車損害賠償保障法施行令別表第1の等級の区分の第1級各号に掲げる介護を要する後遺障害および別表第2の等級の区分の第1級各号に掲げる後遺障害に該当するもの
3等級	120,000円	医師の治療実日数(「入院治療日数および通院治療日数」以下同じ)が120日以上の傷害
4等級	70,000円	医師の治療実日数が60日以上の傷害
5等級	40,000円	医師の治療実日数が20日以上の傷害
6等級	25,000円	医師の治療実日数が5日以上の傷害
7等級	20,000円	医師の治療実日数が5日未満の傷害
加算	10,000円	通院治療に限り、ギブス固定期間が30日以上ある場合 ※ギブスとは石膏ギブスおよびプラスチックキャストのことをいい、患者側による着脱不可なものに限ります。歯の傷害による固定具装着期間は対象になりません。

◇発行◇
一般財団法人
滋賀県老人クラブ連合会
会長 北沢 浩治
☎ (077) 567-3930
◇編集協力・印刷◇
(株)博報社
大阪市平野区喜連西4-6-69
☎ (06) 6797-0212

第54回 滋賀県老人クラブ大会(びわこ豊熟シニアクラブ大会)

第54回 滋賀県老人クラブ大会開催 (びわこ豊熟シニアクラブ大会)

受賞された大西和枝(守山市)さんが受賞者を代表して謝辞を述べられました。

その後、藤村副会長が大会宣言を読み上げて式典を終えました。

式典後、滋賀県警察本部から、高齢者の交通安全および特殊詐欺被害防止に向けた講話があり、続いて、安土町老ク連による創作劇「我家の一大事」の発表がありました。休憩をはさんで午後からは、「笑う顔には福が来る」の演題で三遊亭楽団治氏に講演をしていただき、その後、会場全体で、「青い山脈」を合唱して閉会を迎えるました。

さて、わが国は、この先、高齢化、少子化とともに人口減少のスピードがますます速まる予測されています。高齢者が社会の中心となる状況が進むにつれて、課題も大きく重くなりますので、これからは、今まで以上に、高齢者自身が、健康的で充実した生活を送るうえで大切なことを意識し、そして、そのための取り組みを進めていくことが重要になってまいります。

ところで、高齢化により生ずる課題に対応するためには、昨年、介護保険制度が改正されて市町の役割が大きくなりました。地域において取り組むべきことが増え、特に、高齢者同士の生活支援や介護予防・健康づくりの活動については、老人クラブの参加や協力が期待されています。

このような状況にあって、高齢者が、自らの生活を豊かにし、また、地域づくりなどの活動に力を發揮していくためには、同じ時代を生きる者同士の連帯や活動を支える基盤としての老人クラブの役割があります。重要なになってまいります。その意味でも、今年三年目を迎える会員増強の運動を推し進め、活力ある老人クラブづくりに努めなければならないと考えています。本年も、老人クラブの活性化に力を注ぎながら、活動のテーマ「のばそう! 健康寿命、担おう! 地域づくり」の実現に向けて取り組んでいこうではないかと考えています。



年頭のご挨拶



年頭のごあいさつ

滋賀県知事
三日月大造

あけましておめでとうございます。

昨年十一月には、一昨年
に引き続き、滋賀県老人ク
ラブ連合会主催の県老人ク

賀県と一緒に創つてまい
たい」と決意を申し上げ
した。

会された老人クラブ会員の皆様にご挨拶をさせていただきました。

本県では、「新しい豊さ」を掲げた基本構想にづき、県民の皆様との対話を共感・協働による施策の進に取り組んでおりまが、本格的な人口減少社会の到来を見据え、昨年十

第44回全国老人クラブ大会



会「同世代の連帯・仲間づくり」、第三部会「演じる活動部会」の三部会が開催され、第二部会には、安田町老ク連が創作劇「我家の一大事」の発表で参加され、拍手喝采を浴びて大いに盛り上がりました。

一日目は、久能山東照宮の落合宮司による「徳川家康公と久能山東照宮」と題した講演をはじめ、コーラ

表彰の後、地域支援活動への参加、会員増強運動や介護予防活動などの推進を主旨とする宣言が採択され、最後は、参加者全員で「青い山脈」を合唱して閉会となりました。

A black and white group photograph of approximately 15 elderly individuals, mostly men in suits, gathered together. In the foreground, a man in a suit and tie is looking towards the camera. Behind him, several women are visible, some wearing glasses and dark clothing. The background is slightly out of focus, showing what appears to be an indoor exhibition or event space.

一
八

第四十四回 全国老人ク

会をプラスとしてとらえ、シニアの皆様に地域の担い手として、活躍いただくとともに、健康づくりや介護予防にもつながり、皆様のご経験や能力を発揮していただきける地域づくりを進

結びに、本年が皆様にとって、実り多い年となりますことを心からお祈り申し上げます。

に「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」を策定しました。これを基本構想を推し進めるエンジンとして、「訪れるなら滋賀」「住むなら滋賀」「働くなら滋賀」「幸せな最期を迎えるなら滋賀」と思つていただけるような豊かな滋賀の実現に向け、様々なプロジェクトを開拓していくところです。

本年も、老人クラブ会員の皆様をはじめ、すべての県民の皆さんのがんばりや思いを大切に、「一人ひとりがそれぞれの「豊かさ」を実感できる滋賀県をめざし、精神一杯取り組んでまいりたい」と考えております。皆様のご理解と、長年培つてまいります。

受賞者一覽

▼滋賀県老人クラブ連合会会長吉

受賞者一覧 (敬称略)	
①老人クラブ育成功労者	◆優秀
浅見 末子 (大津市)	井ノ口順一 (大津市)
馬場 茂一 (彦根市)	重吉 豊 (米原市・近江市)
中川 征之 (近江八幡市)	橋本 関三 (大津市)
西藏 清彦 (草津市)	◆佳作
奥村 僚一 (甲賀市)	北村 正幸 (大津市)
田中 光郎 (甲賀市)	木田 信次 (日野町)
岩井 真 (野洲市)	多田圭之祐 (近江八幡市)
古武 黙 (高島市)	龍池 詹男 (湖南市)
大辻 健三 (高島市)	藤橋 克己 (甲賀市)
小川美智子 (愛莊町・秦莊)	●活動賞
村岸 啓司 (甲良町)	・健康づくり活動部門
水嶋 義信 (大津市)	瀬田学区シニアクラブ連合会 ゆうゆう甲賀支部連合会 (大津市)
藤田 治夫 (彦根市)	●活動賞
畑 實 (草津市)	・健康づくり活動部門
大西 和枝 (守山市)	瀬田学区シニアクラブ連合会 ゆうゆう甲賀支部連合会 (大津市)
吉野 三郎 (栗東市)	●活動賞
國枝昭太郎 (湖南市)	・健康づくり活動部門
②優良老人クラブ	●活動賞
小野学区老人クラブ連合会 (大津市)	・健康づくり活動部門
膳所学区老人クラブ連合会 (大津市)	・健康づくり活動部門
栗東ニューハイツ老人クラブ (大津市)	・健康づくり活動部門
②優良老人クラブ	●活動賞
野村 糸枝 (野洲市)	●活動賞
彰▼滋賀県老人クラブ連合会会長表	●活動賞
⑤第三十四回 「豊熟シニアの主張」入賞者	●活動賞



仲間のしるし 会員章

会員章を胸に活動の輪を広げましょう

価格 1,000円

お申し込み
お問い合わせ

- ・所属の市町老人クラブ連合会
- ・滋賀県老人クラブ連合会

滋賀県老人クラブ連合会



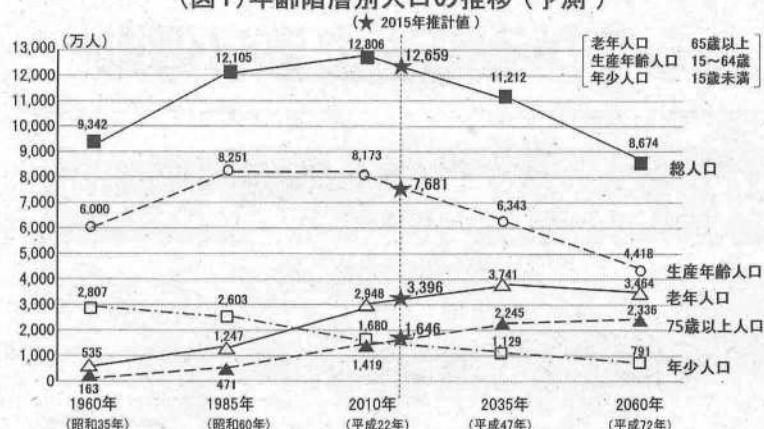
介護保険制度の改正と老人クラブ活動 ～心豊かな長寿社会の実現に向けて～

今、私たちは、とどまる
に応じて進めてきたとい
うです。

は、すでに「高齢化社会」
に突入しており、その頃
は、六十五歳以上の老年人
口が増加する一方で、十五
歳未満の年少人口が減少す
る少子高齢化の傾向が顕著
になってきた時期でもあり
ます。その後、高齢化のス
ピードが増して「高齢社会」
に、そして、現在の「超高
齢社会」へと進みました。
今後は、高齢化、人口減少、
少子化の結果として、社会
の経済基盤を支える労働人
口の著しい減少を招くこと
にもなります。(図①参照)

ところで、全国の老人
クラブが、「健康」「友愛」「
奉仕」の三大運動目標を
掲げたのは、高齢化が一段
と加速してきた昭和六十
一年で、老人クラブは、以
来三十年にわたって、自主的
にいろいろな活動に取り組
んできました。特に、生活
や活動を支える健康の増進
や生きがいづくり、ひとり
暮らし高齢者等への友愛訪
問や見守りなどの活動、ま
た、長年培つてきた豊かな
経験や知識等を生かした社
会貢献の活動などを、高齢
者のニーズや地域の状況等
に応じて進めてきたとい
うです。

(図1) 年齢階層別人口の推移(予測)
(★2015年推計値)



その一例として、介護等
援助を要する高齢者の増加
等により運営が厳しくなっ
てきた介護保険制度の改正
に伴って、市町村が担うこ
とにになった要支援者に対す
る援助活動への参加や協力

そこで、この先、老人
クラブ(高齢者)が目指すべきも
のと、この度の、介護保険制度の
改正に伴つて提起されている老
人クラブの役割について考えてみた
いと思います。

◇今回、介護保
険制度はどのよ
うに改定され
た?
介護保険制度
は、平成十二年
に設立され、三

わが国は、昭和45年に
は、すでに「高齢化社会」
に突入しており、その頃
は、六十五歳以上の老年人
口が増加する一方で、十五
歳未満の年少人口が減少す
る少子高齢化の傾向が顕著
になってきた時期でもあり
ます。その後、高齢化のス
ピードが増して「高齢社会」
に、そして、現在の「超高
齢社会」へと進みました。
今後は、高齢化、人口減少、
少子化の結果として、社会
の経済基盤を支える労働人
口の著しい減少を招くこと
にもなります。(図①参照)

ことになります。また、高
齢者の生活などについて
も、これまでの、支えられ
るだけの立場から転じて、
支援する側としての役割も
大きくなっています。

などがあります。

年ごとに実態を見直し、改
正されることになっています。

は、まず、ますます高齢化
が進む中、団塊の世代と呼
ばれる年齢層が、十年前後
で後期高齢者の仲間入りを
することにより、介護サー
ビス等の必要性が飛躍的に
増すと予測されること、ま
た、高齢者のひとり暮らし
や高齢者夫婦のみの世帯の
増加(図②参照)、認知症
高齢者の増加(図③参照)
などが予想されていました
に進み、従来の介護保険制
度では、財源をはじめ、仕
組みの面でも支え切れなく
なってきたことです。当面、
十年後を見据えた改正と言
われています。

が大きく打ち出されまし
た。

しかし、社会の変化に応
じて新たな役割を担うこと
もさることながら、何より
者は、否応なく、地域社会
において様々な役割を担う
ことになります。また、高
齢者の生活などについて
も、これまでの、支えられ
るだけの立場から転じて、
支援する側としての役割も
大きくなっています。

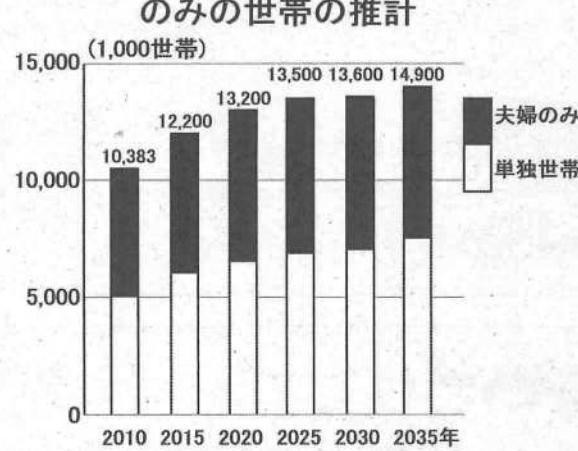
その一例として、介護等
援助を要する高齢者の増加
等により運営が厳しくなっ
てきた介護保険制度の改正
に伴つて、市町村が担うこ
とにになった要支援者に対す
る援助活動への参加や協力

そこで、この先、老人
クラブ(高齢者)が目指すべきも
のと、この度の、介護保険制度の
改正に伴つて提起されている老
人クラブの役割について考えてみた
いと思います。

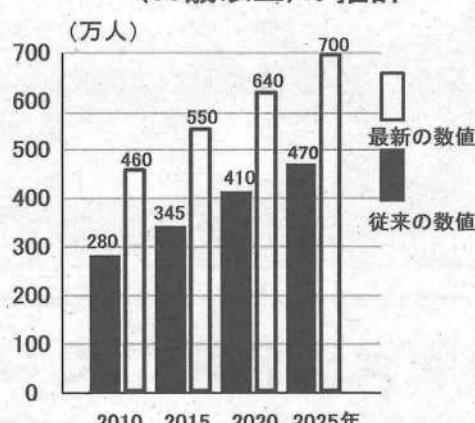
また、今回は、費用負担
の改定と合わせて、支援の
仕組みについても、地域主
体の取り組みとして「地域
包括ケアシステム」の構築
することが盛り込まれま
した。

所得者(住民税非課税世帯)
六十五歳以上の約三割)の
負担が軽減される一方で、
一定以上の所得のある利用
者については、自己負担額
を一割に引き上げて增收を
図ることが盛り込まれま
まい・生活支援などが包括
的に確保されることを目指
した仕組みで、今年度か
ら、市町村が主体となつて
作り上げていくことになり
ます。(次ページへ)

(図2) 65歳以上の単独世帯・夫婦
のみの世帯の推計



(図3) 認知症高齢者数
(65歳以上)の推計



「地域包括ケアシステム」の仕組みの中で、介護の部分については、「要介護認定者」への各種介護サービスはそのまま介護保険で行われ、通所や訪問により介護等（訪問看護、福祉用具の給付等は除く）を受けている比較的軽度の「要支援認定者」については、新たに日常生活の支援も組み入れて、従来の「地域支援事業（介護予防・包括的支援事業等）」を多様化、充実させた市町村主体の「新しい地域支援事業」で、介護予防サービス、生活支援サービスとして対応されることになりました。また、従来の地域支援事業のうち、包括的支援事業の部分については、新たに在宅医療と介護の連携、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備が盛り込まれたものとなりました。



◎老人クラブは、何をするか？
この仕組みにおいて、老人クラブ（連合会）は、地域団体、地域住民の立場で、まず、市町が地域支援の体制づくりや運営等を協議するために三年の間に設置する「協議体」に参加し、高齢者の立場で意見を述べ、可能な協力について、意思表示することが必要かと思われます。

市町が行う「新しい地域支援事業」につながる老人クラブ活動

生活を支援する活動（高齢者が支え合う友愛活動）

高齢化の進行とともに、高齢者夫婦のみの家庭やひとり暮らしの高齢者が急増する傾向にありますが、高齢になるにつれて日常生活のいろいろな場面で不自由したり困ることが増えてきます。

高齢者の生活支援については、市町が行う「新しい地域支援事業」では、家事や移動の支援、配食や食材の配達、生活用品の移動販売などが考えられていますが、老人クラブは、長年の経験などを生かして、生活上の困りごとへの支援を中心に取り組み、条件や体制が整えば、買い物や通院の送迎、付き添いなどにまで広げることができます。

家庭を訪問しての生活支援は、同時に高齢者の健康状態の確認や心を和ませる話し相手として、健康づくりの面でも大きな意味があります。



介護予防活動（健康づくりの取り組み）



「新しい地域支援事業」においては、比較的軽度の「要支援者」の健康維持・増進等のための受け皿づくりが進められます。老人クラブとしては、長年にわたってクラブ活動の三大目標として取り組んできた健康づくり（介護予防）の活動をさらに充実させ、介護支援に頼らなくてもすむ「健康で長生き」の生活を目指す取り組みで協力したいと思います。

また、スポーツや学習活動などとともに、生活支援と一緒にしたサロンやたまり場づくりなども、心身の健康づくりや認知症予防に大いに効果があることとして、積極的に取り組んでいきたいと思います。

さらに、介護予防活動をはじめとして、地域のいろいろな活動に参加することは、それ自体が生きがいや健康づくりにつながる介護予防活動と考えています。

**同世代の連帯と活動を支える仲間づくりをめざして
「100万人会員増強運動」（3年目）を推進しましょう。**

による地域づくりの一環として、昭和六十一年八月、「県民福祉の日」の催しをして実施されて以来、今日まで継続されてきた数少ない事業のひとつです。



今年も開催！三世代交流
グラウンドゴルフ大会

地域において住民に課せられた使命や役割は大きく変化しています。

高齢者こそがこれが
のエンジンである

米原市山東

A black and white illustration of three people. A man with glasses and a woman are standing behind another person who is making a peace sign. They are all smiling and appear to be in a good mood.

地域の 活動だより



平成 27 年 10 月起

未来の実づくり30年事業

里山再生・持続継承

大野木老人会
まり場で食料品販売と
食堂を営業、木曜日は
弁当の宅配を行っています。他には、移送(送
迎)サービス、特産品
の開発、子育て支援、
ふるさと便等々、メ
ニューはどんどん進化
しています。

この会社は、持続的
な発展を継承していく
ために、地区行政とは
別組織として立ち上げ、現
在住民の社員六十名で運営
しています。

大野木老人クラブは、こ
の会社と連携しながらも、
独自の活動を展開してい
て、平成二十七年度は、六
月の「じつつお自前会」で、
まさに自前のじつつお会を
催しました。

中学生以下、六十五歳未
満、六十五歳以上それぞれ
2名の選手を含めて各地域
から二十七チーム、二百余名
の人たちが参加されました。

学校行事やクラブ活動な
どに多忙な日々を過ごす子
どたちの参加には、関係
者の方々の大変なご苦労、
ご協力があつて今日まで継

楽しみ、十月には、「未来の実づくり三十年事業」を発足させ、また、十一月には、「認知症徘徊者の行方検索初期訓練」を実施したところです。

新しい次の時代に対応していくためには、常に現状をスクラップしつつ、スマートでいいから地域の力が地域の中でうまく循環していく仕組みを構築していくことだと思っています。そのエンジンは、元気な高齢者自身で、気概をもつて勇気ある一步、二歩、さらには三歩目を踏み出していくと、確かなものが見えてくると思っています。

**高齢者支援
「お助け隊」**

甲賀市水口町
広野台西区清友会

甲賀市西部に位置する広野台東西区も、振興住宅として開発されて四十数年経ち、今では七〇〇世帯二〇〇〇人を超えて高齢化も進み、ひとり暮らしや高齢者だけの夫婦の世帯など支援を必要とする方が増えてきました。

生活環境についても、高台に位置することから自動車は必要不可欠な生活手段ですが、高齢で運転できなく、住居回りの管理ができなくなるなど日常生活に不便を

支援隊員と草取りなど
の生活支援隊員を募り
体制を整えました。

運営に当たっては細
部にわたって検討を行
いました。組織名
を、「広野台高齢者お
助け隊」として取り決
め事項を会則に定め、
六十五歳以上で支援を
必要とする会員を募り
ました。

支援の内容は、草刈
り、雑木手入れなどの
生活支援と医療機関、
スーパー、郵便局、グラ
ンドゴルフ会場等への送
支援で、そのほか介護予
事業として、花見会やバ
ンバー、また、会員の安
確認も行っています。

会員から年会費で運営しています。

生活支援は必要経費の積額を、送迎支援はガソリン代相当額を設定し、都度会員からいただいています。

また、隊員と会員との情報交換を図るために、隊員会議を月一回、会員との親



交通安全運動

○ 3月15日～4月15日
新入学（園）児と高齢者の
交通事故防止運動

○ 4月6日～4月15日
春の交通安全運動





すべての活動にひと工夫、
もうひと工夫を!

愛荘町秦荘老ク連

今年度も、高齢者がいつ
までも健康で過ごせるこ
と、お互いが支え合うこと、
地域づくりに寄与すること
を基本とした計画に基づい
てさまざまな取り組みを推
進することができました。

第二十七回スポーツ大
会、グラウンドゴルフ大会、
会員一泊旅行、友愛活動協
力員と女性リーダーによる
友愛活動、県外研修(美浜
町老ク連との交流)、歴史
を学びながらの健康ウォー
キング、そしてフォークダ
ンス、健康体操、タオル体
操、男性・女性料理教室な
どの各種教室も定着してき
ました。また、単位クラ

ブ、本部の役員を中心とし
た人権・交通安全・防災な
どの研修会や町、町社協等
のご協力を得て、認知症を
はじめとする愛荘町いきい
きホットプランについても
学ぶ機会を得ました。

半世紀以上続いている当
老ク連の活動に、ひと工夫、
ふた工夫することで、マン
ネリズムを防ぐことにも気
を配り、参加していくだく
方が喜び楽しんでいただく
ことに努めました。

しかし、一方で、
私たち高齢者を取り
巻く状況には厳しい
ものがあり、まさに
国民的課題としてみ
んなが考えなければ
ならない問題について、
日常活動と合わせて取
り組むことを目指して努力したい
と思います。

(大塚 義和)



きりり事業②
「笑って つくつて
健康ランチ」

草津市老ク連

前号では、きりり3事業
の中の「笑って歩いて 健
康づくり」を紹介しました
が、今回は、料理教室と樂
しいランチ風景を報告しま
す。

今回のレシピは、「お赤
飯・おはぎ・シチュー・冬
瓜の鶏そぼろ・枝豆・唐辛
子の味噌煮・香の物・柿」
で、この豊かなメニューの
秘密はサポーターの存在で
す。冬瓜・唐辛子・柿・枝
豆は差し入れです。「うち

の野菜も使ってください」
といただきました。荷物運
びも朝早くから動いてくだ
さり、本当にありがたく思
います。

料理教室が終わると、「い



ただいた野菜がこの
ようにおいしく変身
しました」とお顔を見
に伺うようにして
います。

参加費は500円
で、なるべく良い素
材を買うようにして
います。当日だけでは
は無理な赤飯やおは
ぎなどは、事前に準
備をしておきます。

作ることはもちろん、
食べている時間
の楽しいこと! それほど
負担をかけずに楽しくラン
チしていただきたいと考え
ており、また、ちょっと
お土産ができるレシピを心
がけています。

それでは、大根がたくさん
ある季節になりました
ので、簡単でおいしいゆず
大根の作り方を紹
介します。きりり
教室定番の香の物
です。

《ゆず大根》

大根三キロ(皮
をむき容器に合
わせた大きさに切
る)、砂糖五〇〇
g、塩九〇g、酢
一〇〇cc、ゆず酢
一〇〇cc、ゆず酢
適量。

ゆずは、皮を薄
くむいて細かく刻
み、材料をすべて
合わせます。次の
日には水が上がつ

第一歩と思っており、今後
の活動計画として
①自生地へ年間二十本以上
植樹する。

②うつぐし松をPRするた
め、盆栽を試作、展示する。
③保全管理用の平面図を作
る。

の起爆剤として、この活動
を、湖南市のまちづくり市
民活動として提案したいと
思っています。

(平井 一義)



発端は、昭和五十六年に
滋賀県で国民体育大会が開
催された際、昭和天皇がう
かがいました。

踏査の結果は、三十年前
に比べて成木の生存率は
約40%程度と最悪の状態

で、自生地は
檜や赤松、雜
木が茂り、う
つぐし松の成
長に必要な陽
当たりを遮っ
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

踏査の結果は、三十年前
に比べて成木の生存率は
約40%程度と最悪の状態

で、自生地は
檜や赤松、雜
木が茂り、う
つぐし松の成
長に必要な陽
当たりを遮っ
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

踏査の結果は、三十年前
に比べて成木の生存率は
約40%程度と最悪の状態

で、自生地は
檜や赤松、雜
木が茂り、う
つぐし松の成
長に必要な陽
当たりを遮っ
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

ついで松自生地を行幸さ
かしい風景に戻すことを目
的、高齢者の生きがいと
ふれあいづくりの活動とし
て、平成二十三年から湖南
市まちづくり市民活動に参
加しました。

技能研修、
松ボックリから種の採
取、育成烟づくり、種まき、
発芽、若苗育成まで三年間
取り組みを続け、ついに、
平成二十七年二月五日、市
長にも出席いただきて植樹
祭を催し、若木二十本を育
成畑から自生地に定植しま
した。

今回の若木植樹は活動の

健康づくり推進員

出前講座

だより

県老ク連では、健康づくり支援事業として、各市町老ク連、支部、ブロック・学区老ク連および単位クラブが行う健康づくりの行事等に、出前講座として健康づくり推進員を派遣しています。

内容は、

- ①ニューススポーツ ②健康体操
- ③体力測定 ④料理教室

などで、皆様の健康づくりをサポートしています。

今年度は、71回(11月末現在)の出前講座を実施し好評を得ています。

出前講座への健康づくり推進員の派遣費用(謝礼、交通費、資料代等)は全て県老ク連が負担します。

お申込みは 市町老ク連を通じて、県老ク連まで



◆該当する「テーマ」を明記し、400字程度でお願いします。
 ①健康づくり ②友愛活動 ③奉仕活動 ④伝承活動
 ⑤世代間交流活動 ⑥組織の活性化 ⑦魅力ある老
 人クラブ ⑧その他のテーマ(雑感含む)
 ◆各号お一人様または1団体1作品とさせていた
 だきます。
 ◆原稿締切:特にありません。

会員からの原稿募集要領

老人クラブ
傷害保険付帯

賠償責任保険のご案内

活動中に誰かにケガをさせてしまった、誰かのモノを壊してしまった!!

対人事故

お一人あたり

年間掛金100円(月約8.3円)の保険です。

対物事故

1クラブ
年1回加入年間掛金
(お一人年間掛金)
全会員数×100円

[賠償責任]

お支払限度額
1億円

ご自身のクラブ活動中のケガについても死亡・後遺障害45万円の補償がセットになっています。

保険期間 10月1日(午前0時)~翌年10月1日(午後4時)

申込締切 9月15日まで(申込書類必着のこと)

中途加入 全会員一括で加入の場合のみ中途加入可

※左記保険期間開始後の申込み可能(毎月15日まで申込みの翌月1日から加入)

※ただし、保険期間は加入月にかかる10月1日までとなります。

※お一人年間掛金100円は加入月にかかる同額となります。



① 公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三九ビル1階102号

加入申込書等、
資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ
ご相談

03-3597-8770

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社
TEL.03-3597-8769

(引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社

(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課

TEL.03-3515-4144

◆この広告は、老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険付帯普通傷害保険)、老人クラブ活動専用賠償責任保険(老人クラブ活動中賠償責任危険担保特約セト老人クラブ団体傷害保険付帯普通傷害保険)についてご紹介したもので、必ず「老人クラブ傷害保険のご案内」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」等をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

14-T-03902 平成26年7月作成

ケガの
老人クラブ傷害保険のご案内

平成25年10月1日改定

平成25年9月1日以降の
お申込みから適用

総合型
24時間いつでも、
どこでもケガが心配
という方におすすめ

日常生活全般の
ケガを補償さらに充実補償の
年間掛金
5,000円 年間保険
10,000円 もあります。

年間掛金		総合型 3,500円	
ケガをしたときの状況		クラブ活動型	24時間型
補 償 内 容	死亡保険金	45万円	91万円
	後遺障害保険金 ^(注1)	136万円	
	入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	45万円	
	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	1,000円	750円
		1,750円	
		650円	500円
		1,150円	

② クラブ活動型

クラブの行事や
活動によく出かける
という方におすすめクラブ活動中と
その往復途上の
ケガを補償さらに充実補償の
年間掛金
1,000円 年間保険
2,000円 もあります。

年間掛金		クラブ活動型 500円	
ケガをしたときの状況		活動中の ケガの場合	活動中以外の ケガの場合
補 償 内 容	死亡保険金	45万円	
	後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	
	入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	750円
	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	500円
		1,150円	

チェック 総合型のクラブ活動中のケガの場合は、白地 + 薄いグレー の合計 黒色 の補償額が支払われます。
 総合型のクラブ活動中以外のケガの場合は、薄いグレー のみの補償額が支払われます。

※総合型の掛け金・補償額は、職種級別A(無職、事務職等)の方を対象にしたもので、職種級別B(農林業作業者等)の方は、掛け金・補償額が変更になりますので、代理店または保険会社までお問い合わせください。

(注1)後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)

(注2)手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍また入院中は、10倍となります。

受付時間 9:30~17:00
(土、日、祝祭日、年末年始休)

専用FAX 03-3597-8767 お問い合わせ 先 03-3597-8770

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769 (引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したもので、詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日始期以降用)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。

13-T-03899-1 平成26年8月作成

いきいき近江

**生活を
豊かにするために**

大津市 平石クラブ

本格的な高齢社会が到来する中、誰もが生きがいのある高齢期を過ごせるよう明るく活力ある社会を築いていくためには、まず我々自身が積極的に社会に参加することが大切だと考えます。

そのためには、老人クラブを明るく楽しいクラブにして絆を強め、そこに参加する喜びを味わい合うことが身近な第一歩と思います。

◎住み慣れた地域で生涯楽しく暮らしたいという願いを叶えるため、それが自立した生活を送るよの知識を深める。

◎これまでの人生で培った豊かな経験と知識・技能を生かした交流をする。

これらを基本に据えて、クラブの事業の見直しと新規事業の導入を図り活動を進めてきました。

①健康づくり・介護予防活動の推進(行事ごとに音楽療法を導入。地域包括支援センター、介護保険課、健

康推進課等を招いての学習、体験学習等を実施)
②地域の文化・伝統などについて理解を深める。(博物館、記念館等郊外に出かけ知識見聞を広めた。)
③楽しい体験学習の実施(折り紙教室、そば打ち体験、クリスマスパーティー等を実施。また、自分史を語る会を催して相互理解を深めた。)

④ボランティア活動の実施(市民センター、日吉大社などの清掃活動を年十二回ほど実施。また、地域の仲間同士の支え合い、助け合いを目的に、ワンコインボランティア活動を実施。庭木の剪定など年間二十数件の困りごとに応じて、

本格的な高齢社会が到来する中、誰もが生きがいのある高齢期を過ごせるよう明るく活力ある社会を築いていくためには、まず我々自身が積極的に社会に参加することが大切だと考えます。

そのためには、老人クラブを明るく楽しいクラブにして絆を強め、そこに参加する喜びを味わい合うことが身近な第一歩と思います。

◎住み慣れた地域で生涯楽しく暮らしたいという願いを叶えるため、それが自立した生活を送るよの知識を深める。

◎これまでの人生で培った豊かな経験と知識・技能を生かした交流をする。

これらを基本に据えて、クラブの事業の見直しと新規事業の導入を図り活動を進めてきました。

①健康づくり・介護予防活動の推進(行事ごとに音楽療法を導入。地域包括支援センター、介護保険課、健



(森田 定雄)

仲間づくりを目指して**大津市老ク連 女性部**

会員さんの要望により、三年前から一泊の研修旅行を行つており、今年もバス二台で出かけました。

一日目は、健康づくりを兼ねたグラウンドゴルフで汗を流し、夜は、ご馳走をいただきながら、単位クラブでの取り組みなどについていろいろ話し合いました。

その中で、今後ますます高齢化が進んで高齢者同士の支え合いが大切になるに



への若手の加入が少ないことから、クラブ全體が高齢化して活動に影響が出てきている様子などについて、深刻に話される方もたくさんおられました。あらためて、仲間づくりを進めることの大切さを感じました。

女性会員を中心とした活動に、「物作り教室」と「銭太鼓」があります。物作り教室は、各家庭のタンスに眠っている着物や帯を持ち寄り、工夫しながら小物を作りますが、その作品を携えて会員



しています。

いろいろ課題の多い老人クラブですが、仲間の団結力と絆を大切に、元気で楽しい活動が続けられますように努力していきたいと思います。

(松田 千江子)

**地域貢献を通じて
健康寿命をのばす**

高島市 横山わかみや会

当会は、高島駅の西北の山裾に位置する一〇〇戸からなる集落です。

伝統ある老人クラブの誇りのもと、地域に貢献できればとの思いで活動しています。五

月の大祭、十月の秋祭りの前には、会員総出で



新たな取り組みとして、諸活動を進めるうちに仲間同士の意思疎通が図れ化してきました。また、若い年齢層の入会も増え、クラブの運営などもスムーズになりました。おかげで、クラブが活性化してきました。また、若

平成二十六年に「見守りネットワーク会議」を立ち上げました。現在、女性会員を中心に民生委員さんの協力も得ながら、見守り訪問を中心に、二ヶ月に一回程度高齢者のご家庭を訪れ

と地域への貢献に努めています。この活動は、会員以外の方々とも交流しながら絆を深める良い機会になっています。この活動は、会員以外の方々とも交流しながら絆を深める良い機会になっています。

健康は笑いからと言われ



ます。九月には、「お笑いサロン」を開催しました。この催しを通じて、健康のためにも笑顔でいることの大切さと地域の方々との絆の深まりを感じました。高齢者同士が、笑顔で励まし合って絆を深めながら、自分のことは自分でできるようになりたいと思います。

健康推進委員(地区役員)さんから手作りのデザートの食事のあり方と健康体操についてご指導いただきました。高齢者の食事のあり方と健康体操の講習も受け、全員「オレンジリング」をいただきました。七月下旬には、奉仕作業として、寺院横の観音堂の草刈り清掃および区内の農村グランド除草作業を行つて地域文化の保存

と地域への貢献に努めています。奉仕作業の後には、健康推進委員(地区役員)と一緒に手作りのデザートの食事のあり方と健康体操の講習も受け、全員「オレンジリング」をいただきました。七月下旬には、奉仕作業として、寺院横の観音堂の草刈り清掃および区内の農村グランド除草作業を行つて地域文化の保存

と地域への貢献に努めています。奉仕作業の後には、健康推進委員(地区役員)と一緒に手作りのデザートの食事のあり方と健康体操の講習も受け、全員「オレンジリング」をいただきました。七月下旬には、奉仕作業として、寺院横の観音堂の草刈り清掃および区内の農村グランド除草作業を行つて地域文化の保存

全国老人クラブ 女性リーダーセミナーに参加して

滋賀県老人クラブ連合会
女性委員会 白井 京子

十一月十九日、二十日に
東京新宿ヶ谷ビルの全社

協会議室で開催されたセミ
ナーに、県老ク連女性委員
会から伴委員と白井委員、
事務局から澤崎が参加しま
した。

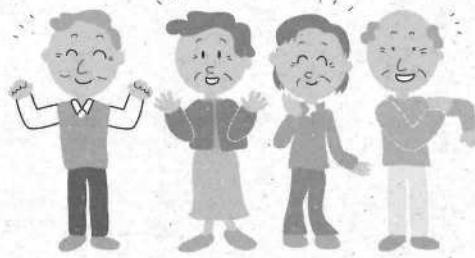
一日目は、全老連の駒場
委員長から、「示そう! 女
性パワー」と力強い挨拶が
ありました。

齊藤常務理事(事務局長)
からは、一〇〇万人会員増
強運動の状況や新地域支援
事業に向けての行動提案に
ついて、そして、高齢消費
者被害防止キャンペーんの
推進に向けての基調報告が
ありました。

次に、二県から事例発表
があり、まず、神戸市兵庫
区泉会から、会員増強につ
ながる活動について、「女
性会長の会で女性の参画を
推進しよう」と報告があり
ました。

続いて、福井県鯖江市か
ら、地域支え合いにつなが
る活動について、「ご近所
福祉ネットワーク活動」へ
の参加報告があり一日目が
終わりました。

二日目は、いきいきクラ
ブ体操で始まり、四名ずつ
のグループに分かれて分散
会がありました。



会員文芸

▽俳句

大津市 北村 正幸

田植機を老いと思えぬ操作かな

大津市 山口 常美

戻るなら二十才のあの日に戻りたい

夏草や昨年よりの放り畑

大津市 伊達 稔

のグループに分かれて分散

会がありました。

①会員増強に向けた取り組

み

②高齢消費者被害防止の取

り組みについて

③地域支え合いにつながる

活動

の三つの活動について熱心

に意見交換がなされました。

昼食休憩後は、老人クラ

ブ保険の説明、全体会で、

全国大会の報告などがあつ

て、二日間の日程が終わり

ました。

高島市 河原田 勝

七日粥祝う片手や若狭箸

ゆかた着に母のにおいの宅急便

春立ちて老の身なりや少なくも

守山市 中村 昌子

筒井 滋子

河原田 勝

久保 光子

松原喜久乃

大津市 山口 常美

記念日に盆かわす我が妻と

大津市 山口 常美

五十年目の顔写す

大津市 伊達 稔

菊鉢運ぶ私の幸せ

大津市 山本 一夫

嘘、本当生まれ変わること本当な

近江八幡市 松原喜久乃

早朝に軽トラスローで友の家

草津市 山本 一夫

嘘、本当生まれ変わること本当な

近江八幡市 松原喜久乃

余生とふ哀しき言葉背に負いて

草津市 田中 和美

秋深き野にひとり草ひく

草津市 田中 和美

大津市 野口 政子

なるようになるさでまぬ孫の世は

大津市 山口 常美

盆梅展心和ます大根焼き

大津市 伊達 稔

こうなるなどいらないなど覗汁

大津市 大川 勇

陽の当たる道を歩いている誇り

大津市 松原喜久乃

もうあかん云つて人程長生きし

近江八幡市 山本 一夫

草津市 筒井 滋子

- ◆読みにくい文字やあて字には、必ずふり仮名をつけてください
- ◆応募作品には、郵便番号、住所、氏名、電話番号、単位クラブ名、所
属する市町老ク連名を明記してください
- ◆応募作品は、掲載・不掲載に関わらず返却いたしませんのでご了承く
ださい

※締め切り、送付先は9頁の会員からの原稿募集要領をご覧ください

文芸作品募集 あなたの作品、応募してみませんか?

- ◆俳句、短歌、川柳、情歌の部門を募集します。(冠句はありません)
- ◆応募は、「ハガキ」に一人あたり1部門1作品(厳守)とし、どの部
門の応募かを明記してください(1枚のハガキに書く部門の作品各1
点を記入することはできますが、同一部門の作品が2点以上ある場合
は無効となりますのでご注意願います)

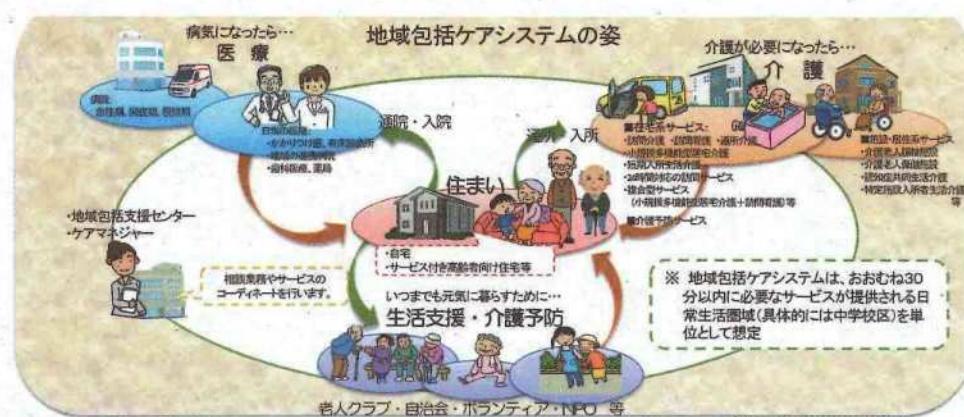
- ◆応募作品には、郵便番号、住所、氏名、電話番号、単位クラブ名、所
属する市町老ク連名を明記してください
- ◆応募作品は、掲載・不掲載に関わらず返却いたしませんのでご了承く
ださい

- ◆読みにくい文字やあて字には、必ずふり仮名をつけてください
- ◆応募作品には、郵便番号、住所、氏名、電話番号、単位クラブ名、所
属する市町老ク連名を明記してください
- ◆応募作品は、掲載・不掲載に関わらず返却いたしませんのでご了承く
ださい

※締め切り、送付先は9頁の会員からの原稿募集要領をご覧ください

- ◆応募作品には、郵便番号、住所、氏名、電話番号、単位クラブ名、所
属する市町老ク連名を明記してください
- ◆応募作品は、掲載・不掲載に関わらず返却いたしませんのでご了承く
ださい

※締め切り、送付先は9頁の会員からの原稿募集要領をご覧ください



十二月一日、二日に東京で開催された全国の老連会長会議に事務局長と出席しました。主な議題は、当然ながら、「100万人会員増強運動」の取り組みにすることでした。

会員増強運動については、平成二十六年度は、残念ながら目標が達成できなかつたが、会員の減少率については、前年と比較して改善の兆しが見えており、より一層の努力が必要

介護保険制度については、平成十二年四月に介護保険法施行後、平成十七年の改正で、介護予防が重視されて、地域包括支援センターが介護予防のマネジメントを行って地域支援事業を実施することになり、平成二十三年の改正には、地域包括ケアの推進、介護、医療、地域密着型サービスの推進が盛り込まれました。

そして、今回の改正により、市町村を主体とした新しい地域支援事業が、平成二十九年四月の全面実施を目指してスタートしました。

これは、当面、

二〇二五年に、いわゆる団塊の世代が七十五歳の後期高齢者となることにより

である旨報告されました。次に、行政説明として、厚生労働省老健局振興課長が期待すること」の標題で、介護保険制度の改正について説明がありました。

介護保険制度については、平成十二年四月に介護保険法施行後、平成十七年の改正で、介護予防が重視されて、地域包括支援セ

ンターが介護予防のマネ

ジメントを行って地域支援事業を実施することになり、平成二十三年の改正には、地域包括ケアの推進、介護、医療、地域密着型サービスの推進が盛り込まれました。

そして、今回の改

正により、市町村を

主体とした新しい地

域支援事業が、平成二十九年四月の全

て、各地域の老人クラブ連

合会としては、「日常生活

支援総合事業」を、新たな

「地域づくり」活動ととら

く取り組みであります。

このような状況を踏まえ、地元自治体の支援

機関とも連携しながら、積

極的に参加することが大切

と考えます。

都道府県・指定都市老連会長会議に出席して

滋賀県老人クラブ連合会

会長 北沢 浩治

増大する福祉的課題に対応することを目指すものであります。改正後の新たな枠組みにおいては、今後、重い要介護状態になつても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が一体となって提供される

平成27年度 女性委員会主催研修会 高齢者相互支援活動研修会



最後に、全員で「三百六十五歩のマーチ」を合唱して、盛会のうちに閉会となりました。

十二月十日、県立長寿社会福祉センターにおいて、高齢者相互支援活動研修会(第一部・午前)、女性委員会(第二部・午後)を開催。各市町老ク連から二八〇名が参加されました。

第一部では、鈴鹿内科医院(京都市)の院長鈴鹿隆之先生の「医学知識を音楽にのせて」講演で、生徒の「医学知識を音楽にのせて」と題した講演で、興味深いお話をしました。



編集後記

新年おめでとうございます。

今年は、会員増強運動に取り組んで3年目を迎えますが、ますます大きくなる高齢者の活動への期待に応えていくためには、まず、高齢者一人ひとりが健康でいきいきと暮らすこと、そして、老人クラブは、高齢者の暮らしや活動を支える活力源であることが重要になります。

この「いきいき近江」が、会員の結びつきを深め、また、元気な老人クラブづくりの一助となりますよう努力してまいりますのでご協力よろしくお願ひいたします。

(広報委員会)